

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成29年2月9日(2017.2.9)

【公開番号】特開2015-125413(P2015-125413A)

【公開日】平成27年7月6日(2015.7.6)

【年通号数】公開・登録公報2015-043

【出願番号】特願2013-271833(P2013-271833)

【国際特許分類】

G 03 G 9/08 (2006.01)

G 03 G 9/087 (2006.01)

【F I】

G 03 G 9/08 3 7 4

G 03 G 9/08 3 3 1

G 03 G 9/08 3 8 1

G 03 G 9/08 3 6 5

【手続補正書】

【提出日】平成28年12月22日(2016.12.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

結着樹脂、ワックス、および着色剤を含有するトナー母粒子と、窒化ホウ素粒子とを混合し、その後、熱風により前記トナー母粒子の表面処理を行うことにより得られるトナー粒子を含むトナーであって、

前記結着樹脂は、

ポリエステル樹脂を含有し、

酸価が5mgKOH/g以上であり、

前記窒化ホウ素粒子は、

一次粒子の個数平均径が0.02μm以上、1.00μm以下であり、

前記窒化ホウ素粒子の質量を基準としたCa、Mg、およびAlの合計の含有量が50ppm以上、10000ppm以下である

ことを特徴とするトナー。

【請求項2】

前記熱風の温度が、前記結着樹脂の軟化点以上である請求項1に記載のトナー。

【請求項3】

前記窒化ホウ素粒子の含有量が、前記トナー母粒子100質量部に対して、0.1質量部以上、5.0質量部以下である請求項1または2に記載のトナー。

【請求項4】

結着樹脂、ワックス、および着色剤を含有するトナー母粒子と、窒化ホウ素粒子とを有するトナー粒子を含むトナーであって、

前記窒化ホウ素粒子は、前記トナー母粒子の表面に溶融固定化されており、

前記結着樹脂は、

ポリエステル樹脂を含有し、

酸価が5mgKOH/g以上であり、

前記窒化ホウ素粒子は、

一次粒子の個数平均径が $0.02\text{ }\mu\text{m}$ 以上、 $1.00\text{ }\mu\text{m}$ 以下であり、
前記窒化ホウ素粒子の質量を基準としたCa、Mg、およびAlの合計の含有量が5
 0 ppm 以上、 10000 ppm 以下である
ことを特徴とするトナー。

【請求項5】

結着樹脂、ワックス、および着色剤を含有するトナー母粒子と、窒化ホウ素粒子とを有するトナー粒子を含むトナーの製造方法であって、

前記トナー母粒子と、前記窒化ホウ素粒子とを混合し、その後、熱風により前記トナー母粒子の表面処理を行う工程を有し、

前記結着樹脂は、

ポリエスチル樹脂を含有し、

酸価が 5 mg KOH/g 以上であり、

前記窒化ホウ素粒子は、

一次粒子の個数平均径が $0.02\text{ }\mu\text{m}$ 以上、 $1.00\text{ }\mu\text{m}$ 以下であり、

前記窒化ホウ素粒子の質量を基準としたCa、Mg、およびAlの合計の含有量が5
 0 ppm 以上、 10000 ppm 以下である
ことを特徴とするトナーの製造方法。